

都市再生整備計画 事後評価シート  
仏生山地区

平成30年3月

香川県高松市

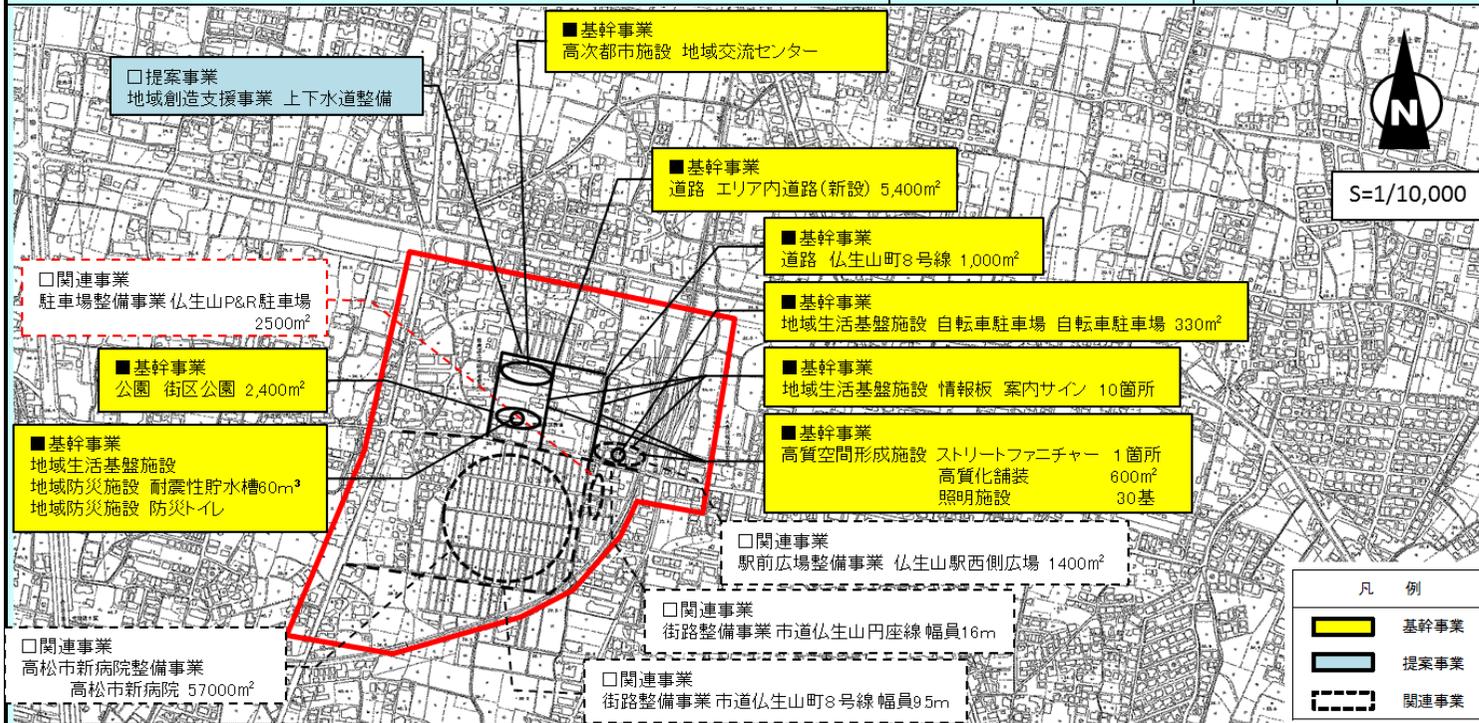
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県		市町村名	高松市		地区名	仏生山地区			面積	30ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	1,219百万円	国費率	40%				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:エリア内道路(新設)、市道仏生山町8号線、公園:街区公園、地域生活基盤施設:自転車駐車場、地域防災施設(飲料水兼貯水槽)、高質空間形成施設:緑化施設等(駅内広場内)、高次都市施設:地域交流センター										
		提案事業	地域創造支援事業:下水道整備事業、上水道整備事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	地域防災施設(防災トイレ)、情報版(案内サイン)			地域防災施設(防災トイレ):仏生山駅から主要施設への導線を明確にし、ユニバーサルデザインに配慮するため追加情報版(案内サイン):防災機能の更なる充実を図るため			影響なし					
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
変更	なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	鉄道利用者数	人/日	3,042	H22	3,350	H29	-	3,185	△	あり	道路整備が進んでいることから、平成29年度4月～9月におけることでん仏生山駅の1日当たりの乗降客数は3,185人/日と現段階では目標値を下回っているものの、当初現況値より上回っており、一定の効果を確認することが出来た。	平成34年4月
	指標2	地域交流施設の利用者数	人/年	-	H22	6,000	H29	-	-	×	あり	平成30年度に新病院が開院予定であるが、第2期計画にて地域交流センターを整備し、平成34年度より運用開始予定のため、平成34年度にて発現状況の確認を行う。	平成34年4月
	指標3	パーク&ライド駐車場利用台数	台/日	-	H22	70	H29	-	-	×	あり	平成30年度にてパーク&ライド駐車場が完了するが、全事業完了後の平成34年度にて発現状況の確認を行う。	平成34年4月
	指標4										なし		
指標5										あり			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	地域交流センター(仮称)施設構想策定ワークショップ 地域交流センター(仮称)・中部総合センター(仮称)建設委員会				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も施設の活用方法等について協議を重ね、地域交流センターの活性化を図りたい。 今後も設計について協議を重ね、地域の活用方法に沿った施設構築に努めていきたい。			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2-2 地区の概要

仏生山地区(香川県高松市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 本市の目指す「多核連携型コンパクトエコシティ」の実現のため、中部東地域の地域交流拠点として、利便性の高い交流基盤の整備を図り、多様な交流を実現するとともに、災害拠点病院の指定を目指している新病院と連携した防災機能の強化を図ることにより、災害に強いまちづくりを実現する。	鉄道利用者数	単位:人/日	3,042 H22	3,350 H29	3,185 H29
	地域交流施設の利用者数	単位:人/年	0 H22	6,000 H29	-
目標1 多世代が交流できる施設等を整備するとともに、防災機能の向上に必要な事業を総合的に推進し、地域住民の誰もが安心・快適に暮らせる生活環境の創出を図る。	パーク&ライド駐車場利用台数	単位:台/日	0 H22	70 H29	-
目標2 本市南部地域の交通結節拠点として、ことでん仏生山駅を中心とした、交通環境の整備を図り、利便性の高い交流基盤に支えられた活力と賑わいのあるまちづくりを進める。		単位:			
		単位:			



まちの課題の変化	道路整備などにより、通行しやすくなり、鉄道利用者数も若干増えたが、地域交流センターが未整備のため、交流や賑わいの促進が図れていない。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	鉄道やバスなど公共交通の更なる強化を行うとともに地域交流センターを早期に整備することで、交流や賑わいの促進を図る。地元コミュニティとの連携や指定管理者との運営に関する工夫で効果的なイベント等を開催することで賑わいの創出を図る。